

製品名: LC3B(9H5)マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM13242**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、ウシ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	14,16kDa

抗原情報

遺伝子名	MAP1LC3B
別名	MAP1LC3B
遺伝子 ID	81631.0
SwissProt ID	Q9GZQ8
免疫原	MAP1LC3B の LC3B の組み換えタンパク質

背景

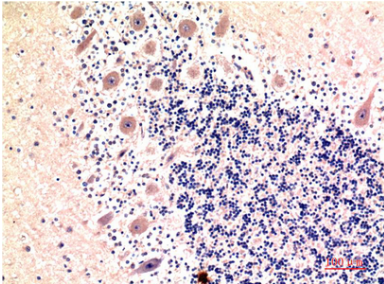
この遺伝子産物は、神経細胞の微小管関連タンパク質 MAP1A および MAP1B のサブユニットであり、微小管の組み立てに関与し、神経新生に重要である。ラットホモログを用いた研究では、この遺伝子がオートファジー（細胞質成分の大量分解を伴うプロセス）

において役割を果たしていることが示唆されている。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、注意：PubMed:12740394 では、このタンパク質は Lys-122 で切断されることが示されているが、PubMed:15355958 では、切断部位は他の哺乳類の相同遺伝子と同様に Gly-120 であることが示されている。、機能：おそらくオートファゴソーム小胞（オートファゴソーム）の形成に関与している。、PTM：前駆体分子は APG4B/ATG4B によって切断され、LC3-I を形成する。これは APG7L/ATG7 によって活性化され、ATG3 に転移され、リン脂質と共役して LC3-II を形成する。、類似性：MAP1 LC3 ファミリーに属する。、細胞内局在：LC3-II はオートファジー膜に結合する。、サブユニット：3つの異なる軽鎖（LC1、LC2、LC3）は、MAP1A および MAP1B タンパク質と結合することができる。、組織特異性：心臓、脳、骨格筋、精巣に最も多く存在する。肝臓では発現がほとんど観察されない。、

研究分野

シグナル伝達

画像データ



1:200 に希釈した LC3B マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学分析。